

第2回定例会

市たばこ税の増税を含む 門真市税条例等の一部改正など 14議案を可決



本会議の様子

平成30年第2回定例会は、6月11日に開会し、「門真市税条例等の一部改正について」など、市長提出議案13件、議員提出議案1件について慎重に審議した結果、いずれも原案のとおり可決、承認並びに同意し、6月22日に閉会しました。

平成30年10月より段階的に
市たばこ税増税へ

門真市税条例等の一部改正については、地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、法人の市民税に係る電子申告の義務化等についての所要の規定整備並びに市たばこ税における税率の引き上げ及び加熱式たばこの課税方式の見直しを行うとともに、固定資産税の課税標準の特例割合を定めるものです。

(議決結果) 全員異議なく可決
(総務建設常任委員会審査概要)

問 市たばこ税増税の概要は。

答 高齢化の進展による社会保障関係経費の増加等があり、安定的な財源確保の観点等から、たばこ税の引き上げを行うもので、消費者等への影響、市民の健康増進の観点等を総合的に勘案し、段階的に実施する。

また、加熱式たばこについては、喫煙用の製造たばこの区分として、新たに加熱式たばこの区分を創設する。

紙巻きたばこの本数への換算方法については、重量と価格を紙巻きたばこの本数に換算する

たばこの税率の推移

実施期間	市町村 たばこ税 /千本	道府県 たばこ税 /千本	国の たばこ税 /千本	税額 合計	1箱20本 当たりの 税額
現 行<一般品>	5,262円	860円	6,122円	12,244円	約244円
平成30年10月1日～	5,692円	930円	6,622円	13,244円	約264円
平成32年10月1日～	6,122円	1,000円	7,122円	14,244円	約284円
平成33年10月1日～	6,552円	1,070円	7,622円	15,244円	約304円
現 行<旧3級品>	3,355円	551円	3,906円	7,812円	約156円
平成30年4月1日～	4,000円	656円	4,656円	9,312円	約186円
平成31年10月1日～	5,692円	930円	6,622円	13,244円	約264円

※31年4月に予定していた旧3級品の紙巻きたばこに係る税率引き上げを31年10月に延期した。

方式とし、30年10月1日から段階的に実施する。

問 基礎控除増額の趣旨と市民への影響は。

答 働き方の多様化を踏まえ、特定の働き方だけでなく、さまざまな形で働く人を応援し、働き方改革を後押しする観点から、給与所得控除及び公的年金等控除から基礎控除へ10万円を振りかえるものである。

これに伴い給与所得者等の税負担は増加しないが、給与収入換算で要件等が変わらないように住民税の非課税限度額における基準額等を10万円引き上げる規定整備を行うものである。

基礎控除とは？

基礎控除とは、納税者の税金負担を軽くするために、課税対象額の一部を控除する制度です。なお、基礎控除は、住民税のほかにも、所得税、贈与税等にも認められています。今回の税改正では住民税の基礎控除額の基準額が10万円増額されます。



また、本市においても中小企業の設備投資を後押しする考えから、その課税標準を最初の3年間はゼロとするものである。

問 中小企業者等が取得した先端設備に係る地域決定型地方税制特別措置の概要は。

答 生産性向上特別措置法に規定する市町村の導入促進基本計画に基づき行われた中小企業者等の一定の設備投資について、固定資産税の特別措置を講じるものである。

もくじ

- 議案審議等の概要 …… 1～3ページ
 - ・門真市税条例等の一部改正
 - ・一般会計補正予算、ルミエールホール等の指定管理者の指定の一部変更など
 - ・意見書、人事案件など
- 一般質問 …… 4～7ページ
- 議決結果、議会活動日誌 …… 8ページ

30年度補正予算 (一般会計補正予算(第2号))

(議決結果) 反対討論の後、賛成多数で可決

(民生常任委員会審査概要)

ふるさと納税で
ふるさと門真まつりの応援を

問 毎年700万円の支出を伴う同まつりを今後も継続するのか。

答 全市民を対象としたまつりを実施することで、市民のふるさと意識が高まり、本市の課題である定住性を高め、人口減少の歯どめの一助となる。また、定住人口だけでなく、近隣市からのまつりへの参加者が本市へ流入することにより、交流人口がふえ、まちのにぎわい、魅力を創出することにつながるものと考えており、今後も継続した実施を考えている。

問 350万円を交付金申請し不採択となったが、財源確保策は。

答 30年度ふるさと納税で同事業への寄附額を充当することとしている。

問 その他の財源確保策は。

答 現在のところ、実行委員会においては同まつり開催のための寄附集めは実施しないとの結論

であるが、同まつりに対して寄附協力の申し出があることも踏まえ、今後においては、財源確保の観点から実行委員会が企業等に寄附を募ることも含め、実行委員会に提案していくことを考えている。

問 市内企業への協力依頼等を市長みずから行うなどの努力が必要と考えるが、その見解は。

答 市の財政を鑑み、加えて市の機運向上のために、トップセールスを行うことはやぶさかではないが、積極的な寄附集めを実施しないことが決定されている実行委員会の意向に沿う形で行動していきたい。



ふるさと納税で応援できる
ふるさと門真まつり

(文教子ども常任委員会審査概要)

子どもの未来応援
ネットワーク事業継続へ

問 子どもの貧困緊急対策事業費補助金を計上した経過は。

答 府が30年度に創設した同補助金について、30年度4月以降、

事前協議を行ってきたところ、同事業の趣旨や内容等が対象となることが確認できたことから、不採択となった地方創生推進交付金の財源を補完するため、歳入予算にて追加計上をしている。

問 子どもの未来応援団員の登録数及び取り組み状況は。

答 本市における子どもの未来応援ネットワーク事業の取り組みは新聞に掲載されるなど注目され、同応援団員の登録者数は、30年6月6日現在で874人となっており、当初目標である600人を大幅に超え、地域の子どもへの関心の高さがうかがえる結果となっている。

さらに多くの子どものシグナルをキャッチする必要があると考え、家庭以外で子どもが多く時間を過ごす保育園や放課後児童クラブの協力を呼びかけた結果、多くの園及び児童クラブから応援団員養成研修実施の依頼を受けている。また、連携している複数の企業において子どもの見守りを実施してもらっており、今後も、引き続き、他の企業にも呼びかけていくことを考えている。

問 これまでに子どもの未来応援チームが着手したケース数は。

答 30年6月6日現在で68ケースである。同応援団員からの情報も増加傾向にあり、事業実施から9カ月が経過して徐々にでは

あるが、地域で子どもを見守る風土が醸成されてきていることを実感している。

問 子どもの貧困対策として、重要である同事業の来年度以降の方向性は。

答 子どもの貧困問題、特に相対的貧困は表面化しにくく、支援が必要でありながら見過ごされている子どもなどがまだ多く潜在していると考えられる。このことから、同事業を継続的かつ長期的に実施していく必要があると考えており、来年度以降も、事業展開が図れるよう財源確保等を含め、関係部署と協議を進めていく。

(その他の質疑項目)
・国の地方創生推進交付金が不採択となった概要について など



庁内に設置されている
子ども未来応援チームの部屋

ルミエールホールなど
指定管理者を1年間延長へ

市民交流会館及び門真市立市民交流会館の指定管理者の指定の一部変更については、平成25年

12月19日門真市議会第4回定例会において議決のあった門真市民文化会館及び門真市立市民交流会館の指定管理者の指定について、指定する期間「平成26年4月1日から平成31年3月31日まで」を「平成26年4月1日から平成32年3月31日まで」に改めるものです。

(議決結果) 全員異議なく可決
(民生常任委員会審査概要)

問 現指定管理者を1年間延長するメリットは。

答 現指定管理者の過去5年間の経験に基づいたノウハウにより、改修工事期間中におけるイレギュラーな施設運営に対処が可能などに加え、改修工事業者等に対する専門的な対応を含め、相互に連携が強化できる。

また、工期が32年2月末までの予定としていることから、32年4月のリニューアルオープンまでの1カ月間において施設の運営や事務の引き継ぎなど、スムーズな移行が図られることで、市民サービスの向上につながるメリットがある。

問 同ホール休館中のソフト面における指定管理者の役割は。

答 同ホールが本市の文化芸術振興の拠点、とりわけ地域文化振興のハブ機能拠点の管理運営に携わる立場から、市の文化芸術振興のための協働パートナーとしての役割を募集要項や仕様書

等で求めている。

また、32年度分の予約は中塚荘等で受け付けてもらう。

(その他の質疑項目)
・改修工事業者等に対する専門的な対応について
・協働パートナーとしての指定管理者の役割について
・同ホール利用の障がい者(児)に対し、設備整備面での配慮について など



政務活動費

収支報告書等の公開

本市議会議員の29年度政務活動費収支報告書及び領収書等の写しを、30年7月から公開しています。

なお、閲覧される際に申し込みなどの手続は必要ありません。

閲覧場所

情報コーナー(市役所別館1階)

閲覧時間

月曜日～金曜日(閉庁日は除く)

午前9時～午後5時30分

※市議会ホームページでは、収支報告書の写しを閲覧することができます。

永年勤続の議員へ表彰状を伝達

が表彰の荣誉に浴されました。
 本市議会では6月11日の定例会の開会に先立ち、表彰状の伝達を行い、満場の拍手でその荣誉をたたえ、また宮本市長からお祝いの言葉がありました。
 これに対し、佐藤議員から謝辞が述べられました。

佐藤親太 議員

去る5月30日に開催された第94回全国市議会議長会定期総会において永年勤続議員の表彰が行われ、本市議会からも(15年表彰)



表彰状伝達の様子

玄番 允子

門真市柳町8番34号

〈人権擁護委員候補者の推薦〉

本件は、同委員の任期が30年8月25日をもって満了することに伴い、提案されたもので、選任に同意しました。

中道 秀樹

門真市打越町24番20号

〈公平委員会委員の選任〉

人事案件に同意

以上4件は、同委員の任期が30年12月31日をもって満了することに伴い、提案されたもので、推薦に同意しました。

小林 美鈴

門真市深田町1番23-806号

阪上 周一郎

門真市野里町27番16号

濱田 和則

門真市北島町12番2号

※意見書とは、地方自治法第99条の規定に基づき、地方公共団体の公益に関する事件に関し、地方公共団体の議会の意思を意見としてまとめた文書のこと、国会又は関係行政庁に提出することができるものです。

意見書を可決

本市議会では、以下の意見書を可決し、直ちに政府関係機関等に送付して内容の実現を求めました。

ヘルプマークのさらなる普及推進を求める意見書

義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、または妊娠初期の方など外見からは容易に判断が難しいハンディのある方が、周囲に援助や配慮が必要であることを知らせるヘルプマーク及びそのマークを配したヘルプカードについては、平成24年に作成・配布を開始した東京都を初め、導入を検討・開始している自治体がふえている。特に昨年7月に、ヘルプマークが日本工業規格(JIS)として制定され、国としての統一な規格となってからは、その流れが全国へと広がっている。

このヘルプマーク及びヘルプカードについては、援助や配慮を必要とする方が所持・携帯していることはもちろんのこと、周囲でそのマークを見た人が理解していないと意味を持たないため、今後は、その意味を広く国民全体に周知し、思いやりのある行動をさらに進めていくことが重要となる。

しかし、国民全体における認知度はいまだ低い状況にある。また公共交通機関へのヘルプマークの導入など課題も浮き彫りになってきているところである。

よって政府においては、心のバリアフリーであるヘルプマーク及びヘルプカードのさらなる普及推進を図るため、下記の事項について取り組むことを強く求める。

記

- 1 「心のバリアフリー推進事業」など、自治体が行うヘルプマーク及びヘルプカードの普及や理解促進の取り組みに対しての財政的な支援を今後も充実させること。
- 2 関係省庁のホームページや公共広告の活用など、国民へのさらなる情報提供や普及、理解促進を図ること。
- 3 鉄道事業者など自治体を越境している公共交通機関では、ヘルプマーク導入の連携が難しい状況にあるため、今後はスムーズな導入が図れるよう国としての指針を示すこと。

市議会の傍聴にお越しく下さい



■平成30年第3回定例会の開催予定 (日程は都合により変更となる場合あり)

と き		内 容	
9月	7日(金)	午前10時から	本会議
		本会議終了後	決算特別委員会
	10日(月)	総務建設常任委員会	
	11日(火)	民生常任委員会	
	12日(水)	文教子ども常任委員会	
	20日(木)	本会議(一般質問)	
21日(金)	本会議(一般質問)		

○傍聴の受付など(誰でも無料で傍聴可能)

	本会議	常任委員会
受付時間	開催予定時刻の30分前から	
受付場所	市役所本館1階議場前	市役所本館4階議会事務局
定員(先着順)	一般席32人 車椅子使用者席3人	10人

○議案書の無償提供

定例会の最終日終了後、議場前にて議案書の無償提供(先着10人、1人1部)を行っていますので、ご希望の方は受付担当者まで、お申し出ください。

一般質問

6月21日、22日の本会議において、17名の議員が市政に対する質問を行いました。

主な質問と答弁の要旨を4面から6面に掲載しています。(通告順)

質問・答弁の詳細な内容については、市議会ホームページ (<http://www.city.kadoma.osaka.jp/shigikai/>) 内の会議録検索及び各議員のホームページをご覧ください。

※第2回定例会(30年6月)の会議録は9月初旬に掲載する予定です。

市議会ホームページでは、本会議録画中継を閲覧できます。

門真市議会インターネット中継

検索



岡本 宗城 (公明党)

大阪モノレール門真市駅への可動式ホーム柵設置について

問 予定していた国の補助金が見込めない中、可動式ホーム柵設置に向けての本市の考えは。

答 大阪モノレールの運営会社に改めて設置要請をしたところ、本市の補助金交付があれば設置するとの意向が示されたため、予算の範囲で補助金を交付したいと考えている。



モノレール門真市駅ホームの様子

京阪萱島駅西改札口へのエレベーター設置について

問 京阪萱島駅周辺地区交通バリアフリー基本構想を策定し、同駅西改札口にエレベーターを設置すべきと考えるが、市の見解は。

答 京阪電鉄(株)に対して同基本構想策定に向けた申し入れを行うなど、より一層エレベーター設置に向けた取り組みを進めていく。

門真南駅への交番移転について

問 二島交番の老朽化に伴う建てかえ移転への対応は。

答 府の事業として実施設計が予定されており、同駅前ロータリー付近への移転に向けて府と調整している。



移転予定の二島交番

安心・安全な通学路の確保について

問 小学校の通学路において、交通専従員やキッズサポーターが配置されていない箇所があり、地域の保護者が対応している箇所も多く、全小学校区への配置が望ましく、交通専従員等の人員をふやせないのであれば、配置日等の工夫をするなどの対応が必要と考える。また、地震等の災害発生時に備え、通学路の安全見直しは、小学校区を3エリアに分け、3年に一度行われているが、今回の地震を受けて、学校施設の耐震性及び通学路の安全性の確認点検を早急に行う必要があると考えるが、市の対応は。



内海 武寿 (公明党)

答 市内全小・中学校に対して、ブロック塀及び学校の施設整備について緊急点検を行うよう指示を出しており、早急な補修・改修が必要な学校については既に改修工事を発注している。また、通学路における危険箇所についても、各学校で現状確認を行い、安全な通学路の確保及び、登下校の安全指導を行っている。



通学路を見守るキッズサポーター

子育て支援について



春田 清子 (公明党)

問 保育所の施設整備の現状と待機児童解消に向けての取り組みは。

答 7事業者において施設整備を行い、30年度は合計245人の定員を確保予定であり、31年度末には待機児童の解消を目指していく。

問 マイナンバー制度を活用した子育て関連の行政手続の状況は。

答 児童手当認定申請等に加え、30年7月から保育の利用申請においても市外の課税証明書等の添付が省略となり、簡素化が図られる。小規模保育事業所間の相互連

携に向けた組織構築への見解は。
答 相互に連携が図られることは、質の向上につながると捉えており、今後も取り組みを注視し、必要に応じて支援を行う。

子育て世代包括支援センターの概要は。

答 従前から実施している母子保健に関する相談に加え、31年4月に保健福祉センター内に地域子育て支援センターを開設し新たに子育て全般にわたる相談を実施する。

今秋供用開始予定の第二京阪高架下北公園の拡張工事について

問 供用開始後の利用方法は。

答 遊具のあるスペースと多目的広場を分けて整備することにより、子どもから高齢者まで安全に幅広い年齢層が利用できると思われる。

古川橋駅北側のまちづくりの拙速な見直しについて



福田 英彦 (日本共産党)

問 見直しに当たって、住民や権利者等の意見聴取は行ったのか。

答 今回は市場調査の結果を参考にしたもので、今後意見を伺う。
問 市有地を売却しない場合の見直しだが、市有地を売却しない場合の想定との比較検討は行わなかったのか。

答 比較検討はしていない。

ごみ置場のカラス対策について

問 近年カラスは、食料等の豊富な都市部で増え続け、ごみの食べ



堀尾 晴真 (日本共産党)

公園の安全管理について

問 子どもたちが安全に遊べる環境をつくるには、安全点検が重要であるが、安全管理基準はどのようになっているのか。

答 独自のマニュアルはないが、国交省の公園施設の安全点検に係る指針(案)、都市公園における遊具の安全確保に関する指針を参考に毎月1回職員が点検している。

問 全ての公園の遊具に安全マットを設置し、安全に遊べるよう整備すべきだが、市の考えは。

答 遊具の補修や取りかえ、マッ

住民訴訟控訴審の判決について

問 高裁判決の「光亜興産らが、結果的に相当な利益を得たことはうかがわれる」とは、9億円を手元に残し、1万3000㎡の土地をただで入手したことと考えるが。

答 高裁も言及しておらず、本市としても判断しかねる。

インターロッキングブロック舗装の補修・改善について

問 インターロッキングブロックに段差が生じ、車椅子やベビーカーの通行の妨げとなっている。特に、大型車両が通行する道路は傷みがひどく、早急に補修が必要と考えるが、どうか。

答 段差等があった場合の補修の必要性は認識しており、職員が発見したときや市民から連絡があった際は順次、ブロックの取りかえなどをしている。



水たまりができていないインターロッキング舗装



土山 重樹 (自由民主党)

移転補償費の裁判結果について

問 ダイエー(旧トボス)跡地の移転補償費における裁判の結果は。

答 6月13日に大阪高裁で「本件訴訟をいづれも棄却する」、「控訴費用は控訴人らの負担とする」旨の判決が言い渡され第一審、控訴審を通して本市の主張が全面的に認められたものと受けとめている。

2025年問題について

問 2025年問題対策検討委員会における各部会での協議内容は。

答 まず、高齢化対策検討部会では、人材不足、健康寿命の延伸をテーマに議論を行い、新たな人材を発掘する協議体の重要性や介護予防への取り組み強化の必要性及び健康マイレージへの積極的な参画についてなどの意見が出された。



今田 哲哉 (緑風クラブ)

問 本市の人口減少の現状と将来の認識について市の考えは。

答 本市の人口減少は、自然減・社会減の両面から進んでいる。今後の持続可能な市政運営には社会減への対応、とりわけ若い世代・子育て世帯の移住・定住を促進し、バランスのとれた年齢構成の実現が極めて重要と考えている。

問 市の施策により緩和可能である社会減について、その根本的な要因の分析が必要不可欠と考える。

は、人材不足、健康寿命の延伸をテーマに議論を行い、新たな人材を発掘する協議体の重要性や介護予防への取り組み強化の必要性及び健康マイレージへの積極的な参画についてなどの意見が出された。また、少子化対策検討部会では子育て環境の整備等の議論を行い、先進的な事業が多数あるが、周知不足が課題との意見が出された。

問 本市の2045年における20〜39歳の女性人口は2015年比53・6%減の5948人と推計できると、今後の市の施策は。

答 質の高い居住環境の創出、待機児童の解消、教育環境の向上等本市のまちのイメージに直結するまちづくり施策に積極的に投資を行い、子育て世代の移住定住に向けたまちづくりに取り組んでいく。

問 市民の転入手続時に市民課窓口にてアンケート調査を実施し、転入の理由や、世帯層等を把握分析することが人口流出対策の第一歩となると考えるが、どうか。

答 アンケート調査により得られた情報は本市の課題や魅力を適切に把握するための貴重なものであり、また、バランスのとれた年齢構成を実現するための施策展開を考える上での重要な情報の一つと考えている。

よって、今後はアンケートの実施に向けて、調査の効果的な内容や実施時期を検討していく。

問 アンケートの回答は文字の記入式ではなく、選択式にすべきと考えるが、どうか。

答 市民が気軽に回答できる選択式を前提として検討していく。



武田 朋久 (公明党)

生涯学習複合施設の基本構想・基本計画の策定について

問 生涯学習複合施設の基本構想・基本計画は法に規定されている手順を踏んで策定されたのか。

答 社会教育法には、社会教育委員の職務として、教育委員会の諮問に応じ意見を述べることと規定されている。同複合施設に関して諮問はなかったが、同計画策定委員会に社会教育委員が同法の規定により参画できたと考える。

しかしながら、社会教育行政を進めるに当たっては、社会教育委員にさまざまな意見を求め、その助言をより積極的に取り入れていく。



亀井 淳 (日本共産党)

門真市緑の基本計画改訂について

問 本市及び府の住民1人当たりの都市公園面積は。

答 本市が1・07㎡で府内については5・47㎡である。

問 市は、都市農地の保全方策だけでなく、公園緑地確保の立場からの買い取りや借地を想定しているのか。

答 農地所有者の意向を踏まえ、今後の方向性を検討していく。

問 公園等、災害発生時の一時避難地がない町及び大字の数は。

答 86カ所中60カ所である。



森 博孝 (無所属)

魅力発信ツールとしてフォトログイニングの継続を

問 6月3日に本市も共催で実施したフォトログイニングの概要は。

答 徒歩やランニングにより地図に記された名所等のチェックポイントを制限時間内にどれだけ撮影して回れるかをチームで競うイベントであり、今回は、薫蓋クスや伝茨田堤等、45の名所をチェックポイントとして実施された。

問 市内外から多くの参加者が集まり、盛大に開催されたと聞くが、参加者数等の詳細は。

答 子どもから70歳代まで、東は静岡県から南は沖縄県まで、市外65チームを含む合計78チーム、233人の参加があり、3時間の部としては関西で過去最多の参加者数を記録したと聞いている。

問 同イベントは本市の魅力発信する有効手段であり、今後の継続的な実施を望むが、市の考えは。

答 同イベントが新聞やケーブルテレビで取り上げられたことで、参加者はもとより市内外の多くの人々に本市の魅力効果を発信できたものと感じており、今後も引き続き積極的に支援していきたいと考えている。



チェックポイントの一つとなった三島神社の薫蓋クス



松本 京子 (公明党)

住宅困窮者対策について

問 市営住宅の風呂設備について、比較的新しい風呂釜等は、退去時の取り外しは不要とし、そのまま残しておく、新規入居者が引き続き使用するかどうかを選択できれば、市民の撤去・設置費用の軽減にもつながると考えるが、どうか。

答 現在、市営住宅の風呂設備については、新規入居者が自己負担で設置することとなっているが、府営住宅においては、風呂設備の再利用を開始している。

本市においても府を参考に市民

負担の軽減について検討していく。

健康マイレージについて

問 本市でモデル事業の実施が決定した府の健康マイレージ事業について、その内容と目的は。

答 ポイント還元により、健康づくり活動の動機づけを行い、継続的・自発的な行動を促進していく。

問 AED教育について

答 本市の小・中学校における児童・生徒への心肺蘇生教育の実施状況と今後の取り組みは。

答 命にかかわることは最優先すべきとの認識もあり、本市の実施状況は中学校50%、小学校21%と全国平均を大きく上回っている。今後、未実施の学校については、その必要性を周知・指導していく。



高橋 嘉子 (公明党)

自治会と地域会議のあり方について

問 近年、自治会に加入、参加する世帯が減少していることが指摘されており、特に少子・高齢化が進む中、自治会の活動を維持・継続することが非常に難しくなってきている。

答 一方、地域会議は原則中学校区で取り組むものとされ、自治会もこの中に含まれる。実際に地域会議を支えているメンバーは、そのほとんどが自治会を支えるメンバーであり、自治会と地域会議の活

動内容が非常によく似ている。うがっていえば、地域会議は自治会の組織そのものを中学校区に拡大しただけのものであり、市の財政支援において重複しているのではないかと危惧する。

問 今後の自治会と地域会議のあり方についての市の考えは。

答 自治会と地域会議は、活動している人材が重複していることは認識しているが、互いの事業が重複しているとは考えていない。

同一地域の中で、互いの得意分野を發揮し、補完し合いながら連携して地域の課題解決に取り組む組織として、行財政改善基本方針を踏まえた上で、引き続き支援していきたい。



後藤 太平 (公明党)

府営住宅の移管について

問 移管された場合、将来的に老朽化した建物を除却し、新たな土地利用を行うことは可能か。

答 将来的に公営住宅として需要がなくなった場合は可能と考える。

問 市外入居の促進に向けた空き家募集情報の周知方法について、どのように取り組むのか。

答 大阪市が府営住宅の移管後にやっている周知方法も含め、府と連携し効果的な手法を検討していく。

問 若年世帯の呼び込みにリノベ

高齢者等の交通手段について

問 運転免許証を自主返納した高齢者や、徒歩での移動が困難な高齢者が今後も見込まれる中、本市の状況と、「高齢者や障がい者にやさしいまちづくり」における交通手段についての見解は。

答 介助が必要な高齢者等は福祉有償運送や介護タクシーの利用が可能であるが、超高齢社会が到来する中で、課題の一つとして捉え、2025年問題対策検討委員会で議論していく。



豊北 裕子 (日本共産党)

子ども食堂への支援を

問 朝食や休日に食事がとれていない子・孤食の子を何とかしたいと始まった子ども食堂は全国に広がっているが、本市の状況と市としての支援についての考えは。

答 把握している市内の子どもの食堂は10カ所、補助制度については課題があり難しいが、市の支援としては、依頼があれば広報やホームページなどでの周知に努める。

萱島駅西口にエレベーターを

問 同駅西口には、エレベーター



大倉 基文 (緑風クラブ)

本市における鳥害について

問 ハトの餌やりやムクドリなどの苦情が寄せられているが、市の対策は。

答 ハトの餌やりには、直接指導し啓発文を掲示して予防している。今後は広報等で、根拠を示して啓発に努める。また、ムクドリのふん害対策は、樹木に対しネットをかぶせたり、剪定を工夫するなどしているが、今後も引き続き他市の事例を参考に検討していく。

公共施設の喫煙場所以ついて

が設置されていない。西口の利用者は地形から東口のエレベーターの利用は難しい。同駅は二つの駅と捉え、強く設置要望すべきでは。

問 京阪電鉄(株)には、文書によるエレベーター設置の要望を行っている。駅舎が特殊な構造であることは認識しており、引き続き粘り強く設置を要望していく。

北巣本幼稚園跡地には地域要望を受け文化施設等の設置を

問 同跡地活用中の市の考えは。

答 施策展開の中で要望を踏まえ、庁内での意向を把握していきたい。

問 東部地域に文化施設は必要と考えるが、東部の位置づけは。

答 具体的計画や位置づけはないが、要望を把握しながら、地域特性を踏まえ検討する。

公共施設が全面禁煙になり、設置された喫煙場所以ついて、近隣住民から苦情が寄せられているが、喫煙場所設置の市の見解は。

答 市役所庁舎では敷地内に喫煙所を設置しており、苦情はない。市内小・中学校では苦情が寄せられることがあり、その際は勤務時間外等における敷地外の喫煙は認めている旨を市民に説明している。今後においては、市民等の意見を参考に受動喫煙策を進めていく。

生活保護の現状について

問 本市の生活保護率は大阪市内各区と比較してどうか。

答 30年5月現在の本市の生活保護率は49・26%である。大阪市内の24区において、本市より生活保護率が高い区は11区である。



池田 治子 (自由民主党)

地域要望の検討体制について

問 地域の要望に対し、住民の思いに寄り添い、庁内議論をすべきだが、市はどう対応するのか。

答 各部署で抱える課題等を精査し関係部署や機関と調整、議論し事業化等を検討し適切に対応する。

門真南駅周辺整備について

問 同駅前への二島交番の移設整備の現在の状況と今後の予定は。

答 30年度に府の実設計費の予算措置がなされ詳細な位置決めのため現地立ち会いを予定している。



戸田 久和 (無所属)

高裁も市勝訴で右翼・共産党・緑風・松井知事らの宣伝主張が一蹴されたトポス裁判について

問 これは2013年11月の毎日新聞報道を契機に、突然に右翼や共産党が非難宣伝を始めた事件で、裁判では原告側が「2010年3月に市が(体育館面積の2倍もあって半分は使用目的がない)トポスを買えば安く上がった」との「行政として絶対にできない暴論」を主張したが、共産党議員は議会で「新体育館を安く建設する手法」

ドクターカーについて

問 市民の命を守るドクターカーのような対応は行われているのか。

答 救急医療機関と消防組合が連携を図り同様の対応を行っている。

幸福町・垣内町地区のまちづくりについて

問 同地区のまちづくりの理念は。

答 「門真市全体の都市イメージを先導していくオンリーワンのまちづくり」を基本理念としている。

再犯防止の推進について

問 地方再犯防止推進計画の策定について市の見解は。

答 府の動向を踏まえ、本市としても計画策定に関する検討を進めていく。



を全く主張しなかったはずだろうか。また、光垂興産が大もうけしたことが違法だとか、大もうけさせないための具体的な制度改善を述べたことがあるか?

答 それらの指摘は議会ではなかったと認識している。市長が一中跡地で8600㎡も売却用地をふやして当初計画を台なしにしようとしていることについて

問 今回の変更賛成するのは緑風クラブの五味・大倉・今田・吉水の4議員と公明党の武田議員の計5人のように思えるが、ほかに賛同議員を見込んでいるのか?

答 売却時には議会の議決が必要なので、全議員から協賛してもらえよう丁寧な説明に努めていく。

■市政に対する一般質問の要旨（通告順）

岡本 宗城（公明党）

1 改正バリアフリー法について

- (1) バリアフリーマスタープラン制度の創設について
- (2) バリアフリーマップの作成について
- (3) 京阪萱島駅西改札口へのエレベーター設置について

2 大阪モノレールについて

- (1) 門真市駅のホームドア設置について
- (2) 松生町周辺への中間駅設置について

3 門真南駅への交番設置について

- (1) 二島交番の老朽化に伴う門真南駅への建てかえ・移転について
- (2) 建てかえ・移転における府・市が連携した進め方について

内海 武寿（公明党）

1 安心・安全な環境づくりについて

- (1) 交通安全教育について
- (2) 安心・安全な通学路の確保について

2 感染症対策について

- (1) 保育所の感染症対策について

3 産業振興について

- (1) 設備投資に伴う固定資産税の特例措置について

春田 清子（公明党）

1 子育て支援について

- (1) 保育所の整備と待機児童の解消について
- (2) 小規模保育所の連携について
- (3) 子育て世代包括支援センターの設置について

2 第二京阪高架下北公園について

- (1) 公園の拡張整備工事について
- (2) 供用開始後の円滑な利用について

3 マイナンバー制度について

- (1) マイナンバーを活用した子育て関連の行政手続について
- (2) マイナンバーカードの利活用について

福田 英彦（日本共産党）

1 古川橋駅北側の旧第一中学校周辺のまちづくりの拙速な見直しについて

- (1) 見直しに至る経過の詳細について
- (2) 住民・権利者等への意見聴取について
- (3) 生涯学習複合施設見直し問題について
- (4) 市民の貴重な財産（土地）売却について

2 「29億円問題」住民訴訟控訴審の判決について

- (1) 住民訴訟、判決の受けとめについて
- (2) 今後に生かすべき教訓について
- (3) ダンマリを決め込んできた宮本市長の「29億円問題」に対する考えについて

3 ごみ置き場等のカラス対策について

- (1) カラス被害の現状について
- (2) 対策に関する市民周知について
- (3) ネット購入補助等の支援策導入について

堀尾 晴真（日本共産党）

1 インターロッキング舗装の補修・改善について

- (1) インターロッキング舗装の特徴、メリット、デメリットについて
- (2) インターロッキング舗装の安全点検について
- (3) 滑りどめなど安全対策について
- (4) 補修などの考えについて

2 公園の安全管理について

- (1) 公園の種類と役割について
- (2) 公園の安全管理・点検基準について
- (3) 日陰について
- (4) 遊具の安全管理について

土山 重樹（自由民主党）

1 まちづくりについて

- (1) 移転補償費の裁判について
- (2) 一中跡地の活用について

2 2025年問題について

- (1) 2025年問題対策検討委員会の設置目的を達成するためのスケジュール等について
- (2) 人口バランスについて
- (3) 介護保険のあり方について

今田 哲哉（緑風クラブ）

1 本市の人口減少に対する施策について

武田 朋久（公明党）

1 門真市職員の人材育成について

- (1) 人材育成の方法について

2 2040年における門真市の人口減少と高齢者施策について

- (1) 人口ビジョンについて
- (2) 予想される高齢者の状況について

3 社会教育法と教育委員会及び市長部局との関係性について

- (1) 社会教育法について
- (2) 教育委員会との関連について
- (3) 市長部局との関係性について

4 障がい者施策について

- (1) 支援学校について
- (2) 保護者のレスパイトについて

亀井 淳（日本共産党）

1 門真市緑の基本計画改訂について

- (1) 同基本計画の進捗状況について
- (2) 同基本計画支援業務委託に際しての参加業者への仕様書の内容について
- (3) 応募に伴う質問に対する回答書の内容について
- (4) 防災公園など公園整備について
- (5) 弁天池公園など公園のリニューアルについて
- (6) 公園の管理などについて

森 博孝（無所属）

1 門真市の魅力発信施策について

- (1) 2018年6月3日に実施された「フォトログейニング」について

松本 京子（公明党）

1 住宅困窮者対策について

- (1) 住宅困窮者に係る対応について

2 健康施策について

- (1) 特定健康診査等実施計画とデータヘルス計画について
- (2) 健康マイレージについて

3 教育施策について

- (1) AED教育について
- (2) 奨学金返済補助制度について

高橋 嘉子（公明党）

1 自治会と地域会議のあり方について

- (1) 自治会について
- (2) 地域会議の進捗状況について
- (3) 今後の自治会と地域会議のあり方について

後藤 太平（公明党）

1 デマンド交通について

- (1) 高齢者や障がい者の交通手段について
- (2) 高齢者や障がい者にやさしいまちづくりについて

2 府営住宅の移管について

- (1) 移管に伴っての今後の市の考え方について
- (2) 市営住宅になった後の募集の仕方について

3 孤独死対策について

- (1) 身寄りのない高齢者の死後の財産について

豊北 裕子（日本共産党）

1 子ども食堂への支援について

- (1) 市のできる支援についてどのように考えているかについて

2 萱島駅西口のバリアフリー化について

- (1) エレベーターの設置について
- (2) 京阪電車との交渉について

3 北巢本幼稚園跡地の活用について

- (1) 北巢本幼稚園の跡地活用についての市の考えについて
- (2) 市民要望について
- (3) 門真東部の文化施設の必要性について

大倉 基文（緑風クラブ）

1 ムクドリのはん害、ハトへの餌やり等について

- (1) これまでの苦情・相談について
- (2) その対応について
- (3) 今後の策について

2 公共施設全面禁煙について

- (1) 全面禁煙になってからの喫煙場所（スペース）について
- (2) これまでの苦情相談について
- (3) その対応について

3 生活保護の現状について

- (1) 現在の生活保護率について
- (2) その中身について
- (3) 他市との比較について

池田 治子（自由民主党）

1 ドクターカーについて

2 門真南駅周辺整備について

- (1) コンセプトについて
- (2) 二島交番の移設予定について

3 地域要望の検討体制について

- (1) 自治会担当課の対応について
- (2) 庁内議論の体制について

4 幸福町・垣内町地区のまちづくりについて

- (1) 計画の変遷について
- (2) まちづくりの理念について

5 再犯防止の推進について

- (1) 再犯防止推進計画の概要について
- (2) 地方再犯防止推進計画の策定について
- (3) 保護司活動の支援強化について

戸田 久和（無所属）

1 宮本市長が勝手な思いつきで一中跡地1万4400㎡のうち8600㎡もの土地を売却用地にして当初計画を台なしにしようとしている問題について

2 高裁も市勝訴で右翼・共産党・緑風・松井知事らの宣伝主張が一蹴されたトボス裁判について

3 宮本市政開始直後に双葉給食が賃金未払い発覚で追放の重大事件があったのに、議会にも市民にも隠されてきたことについて

4 病院が入院患者に日用品等のリース負担をさせている問題（特に摂南病院は強制明示で）について

5 「よき企業市民の育成」による地域調和と市の役割について

第2回定例会で審議された案件と議決結果			会派名	公明党						自由民主党			日本共産党			緑風クラブ			無所属	無所属	議決結果				
議案番号	議案名	議員名	松本京子	後藤 太平	武田 朋久	岡本 宗城	内海 武寿	高橋 嘉子	春田 清子	池田 治子	土山 重樹	佐藤 親太	中道 茂	堀尾 晴真	豊北 裕子	福田 英彦	亀井 淳	大倉 基文	五味 聖二	今田 哲哉		吉水 丈晴	森 博孝	戸田 久和	
報告	報告第2号	専決処分の報告について	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	議決不要
	報告第3号	平成29年度門真市一般会計繰越明許費繰越計算書について	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	議決不要
	報告第4号	平成29年度門真市公共下水道事業会計予算繰越計算書について	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	議決不要
	報告第5号	平成29年度門真市水道事業会計継続費繰越計算書について	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	議決不要
専決処分	承認第4号	専決処分の承認を求めることについて (平成30年度門真市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)について)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
条例	議案第34号	門真市災害派遣手当等の支給に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第35号	門真市税条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他の議案	議案第32号	門真市民文化会館及び門真市立市民交流会館の指定管理者の指定の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第33号	大阪広域水道企業団規約の一部変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
補正予算	議案第36号	平成30年度門真市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	可決
	議案第43号	平成30年度門真市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
人事案件	議案第37号	公平委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第38号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第39号	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第40号	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第41号	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第42号	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提案	議員提案 議案第2号	ヘルプマークのさらなる普及推進を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

(議長につき、採決に参加なし)

※表の見方 『○』は賛成、『×』は反対。会派名は大会派・公党順、議員名は議席順。

議会活動日誌 (平成30年6月1日～7月31日)

- 6・4 議会運営委員会
- 11 本会議 (第2回定例会開会)
- 12 総務建設常任委員会
- 13 民生常任委員会
- 14 文教子ども常任委員会
- 15 議会運営委員会
- 21 議会運営委員会
- 本会議
- 22 本会議 (第2回定例会閉会)
- 25 2025年問題調査研究特別委員会
- 7・3 守口市門真市消防組合議会臨時会
- 5 くすのき広域連合議会臨時会
- 12 河北市議会議長会
- 19 淀川左岸治水促進期成同盟総会
- 23 飯盛壺園組合議会定例会
- 24～25 東部大阪治水対策促進議会協議会他都市視察
- 26 守口市門真市消防組合議会臨時会

